

指導方法等の改善計画について 三原市立久井小学校

1 課題と取組について

本年度の結果について
<p>○取組の成果と課題 (国語)「読むこと」の学習において、理由を明確にして、自分の考えを話したり書いたりする活動を重点的に行った。その結果「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む」問題の正答率が88%、「目的に応じて本や文章全体を概要して読む」問題の正答率が96%となった。 (算数)学び直しや基礎基本の定着のための取組を全校で行った結果、基礎基本の力が問われている「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る」問題の正答率が100%、「台形について理解する」問題の正答率が92%となった。 ○本年度の調査から明らかになった課題 (国語)「文と文の意味のつながりを考えながら、接続詞を使って内容を分けて書く」問題の正答率は52%で、全国平均との差も+4.2しかなく、課題である。 (算数)「示された計算の仕方を解釈し、計算しやすい式に直して計算する」問題の正答率は92%であるのに対して、「示された計算の仕方を解釈し、それを言葉で記述する」問題の正答率は、28%で課題である。</p>



課題克服に向けた重点取組
<p>○全校での取組について ・文章を書く時には、分かりやすい文章になるよう、推敲する習慣を身に付けさせる。 ・学び直しや基礎基本の定着のための取組を継続して全校で行う。 ○授業改善について (国語)接続詞の使い方などの言語事項の指導では、発達段階に応じて、何を学ばせておかなければならないかを確認し、当該学年で身につける言語事項がきちんと積みあげられるようにする。 (算数)学習のまとめの文章を児童に考えさせるなど、学んだことを言葉でまとめる力を付ける。</p>

2 本年度の結果(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	全国平均 以上	全国平均 以上
結果 (対県比%)	77 (116%)	72 (105%)

3 取組の計画

平成31年度 2学期
<p>【全校での取組について】 ・全職員で問題を解き、正答率の低かった問題の誤答分析を行う。 ・学び直しや基礎基本の定着のための取組を計画的に行う。 ドリルタイム 金曜日 朝・・・国語「読む力」「ことばの力」 月・火・水・金 昼・・・算数(1学期の復習) 校内検定 校内漢字検定・・・12月3日(火) 校内算数検定・・・12月11日(水) ・標準学力調査に対応した問題を解かせる計画を立て、実施する。</p>
<p>【授業改善について】 ・どの授業でも、学習のまとめを子どもたちに考えさせる。また考えたことを表現させ、具体的な事柄を自分なりにまとめて表現する力を身に付けさせる。 ・接続詞の使い方などを学習する単元において、何をどのように習得させるのか、全教職員で確認する。 ・11月の校内授業研究において、算数の図形に関する問題を取り入れ、図形領域における児童へ効果的な手立ての在り方を検証する。</p>
平成31年度 3学期
<p>【全校での取組について】 ・標準学力調査の結果から課題を分析して、定着が不十分な学習内容については、学び直しをさせる。 ・ドリルタイムを活用した学び直しを継続し、当該学年の力を確かなものにする。 ・校内漢字・算数検定の取組を継続し、当該学年の力を確かなものにする。</p>
<p>【授業改善について】 ・以下の視点で互いに授業観察をし合い、よりよい実践を交流する。 ・課題設定では、児童の学習意欲を引き出せたか。 ・集団思考では、児童に「学びの深まり」や「新しい発見」があったか。 ・「学習のまとめ」は、子どもたちの言葉でまとめることができたか。</p>

4 次年度の正答率(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	対県比 105%	対県比 105%
結果 (対県比%)		

5 取組の振り返り

○効果のあった取組
○改善していく取組